

# 新たなまちづくり



新年 謹賀

町民の皆様におかれましては、健やかに令和四年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政進展にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが確認されてから三年目となりました。新たな変異株が出現し、国内でも感染が確認され、第六波が心配されます。三回目の接種や五、十一歳の接種も予定されています。感染対策に馴れたとはいえ、終わりが見えない状況です。

## 初夢に期待を込めて

美里町議会議長

橋場 倅男



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より、美里町議会に對しましてご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の相次ぐ感染拡大の影響により社会経済活動が大きく制限されましたが、感染防止対策やワクチン接種が進んだことで一定の落ち着きが見られております。

美里町におきましても、9割近くの方がワクチンの2回接種を終えている状況でございます。これもひとえに町民の皆様

コロナ禍、「いつもの何気ない日常」が、いかに大切か思い知らされました。このような状況でも、私たちは前を向き、現状に對応していかなければなりません。三回目のワクチン接種をお願いし、感染対策を習慣化するとともに、必要なことは実施方法を工夫して進めなければなりません。多数の方が集まる総会や行事は、慎重な判断が必要です。一方、対面での会話やふれあいも大切なことです。新たな手法を模索します。

ようやく寄居スマートICが全面開通しました。産業団地でもできました。今後、この効果を最大限に活用するため、役場周辺エリアの土地利用を見直し、今までできないかと思われていた商業地や住宅地などの農地転用を可能とし、町の核となる新たなまちづくりを進めます。

また、昭和四十、五十年代にかけて建設した小学校などの公共施設は、維持更新時期を迎えています。国・県の補助や民間の力を生かした工夫をし、改修等を進め、皆様に活用される施設づくりを目指します。

水道第二浄水場は、千年に一度の最大

様の感染予防に對するご理解あつての事だと感謝申し上げます。併せまして、本年は、新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大が懸念される中、ワクチンの3回目接種が予定されております。引き続き感染予防にご協力いただき、感染症が終息に向かうことを願っております。

さて、お正月といえば初夢がございませう。やはりこの様な時だから「不況の時の今だからこそ力を出せる町」を合言葉に大きな夢が実現できたらいいなと思います。夢として町の人口1万5000人、高齢者・子供・障がい者を守り誰もが働きやすい雇用環境の創設、自然豊かな環境を守り一人ひとりが健康で100歳を目標に過ごせる町です。

そのために、昨年全面開通した寄居スマートICを活用した都市開発、農・林・商・工・住の新たな取組を進め、行政と議会が車の両輪となって全身全霊で「彩のある未来に向かって」スタートいたします。

結びに、町民の皆様が今年一年、隅々まで幸せになる幸多き年となることを御祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

## 美里町長 原田信次

雨量で洪水ハザードマップを見直したところ、浸水想定区域となってしまいました。現在、県の協力を得て浸水しても対応可能な方法を検討しています。

さらに、世界各地で異常気象が多発しています。世界的に脱炭素が進む中、政府も2050年のカーボンニュートラルを表明、わが町もゼロカーボンシティを宣言しました。今後、個人住宅や企業、公共施設等で太陽光発電や蓄電池など、再生可能エネルギーが無理なく活用できるように国・県の支援を受けて普及したいと考えています。

いずれにしても、町民の皆様に必要な予算を確保するため、企業誘致等による税収増、国・県の補助金活用、健康づくりによる介護や医療費等の低減、公共施設の統廃合等を含む支出抑制、土地利用による若い人に魅力のあるまちづくりを進めるなど、美里町が持続可能で安定した行財政運営ができるよう、全力を傾注いたします。

新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。

### 町長が選んだ

令和3年

## 町の5大ニュース

- 1 念願の寄居スマートICが全面開通！
- 2 2050年までに町内の二酸化炭素排出量を実質ゼロ目標とするゼロカーボンシティを宣言
- 3 健康長寿優秀市町村表彰で埼玉県知事から3年連続で優秀賞を受賞
- 4 個人住民税市町村表彰式で埼玉県知事から納税率部門町村第3位を受賞
- 5 マイナンバーカード普及啓発に取組み5000円分の商品券を配布



16年の歳月を経て全面開通した寄居スマートIC。全面開通により、以下の効果が期待されます。

- ・地域経済の活性化と雇用強化
- ・交通利便性の向上と渋滞緩和
- ・災害に強い地域づくりへの支援